

歯科医院運営に まつわる **実は**

最終回

6 「歯科医院で取り扱う器具」の実は

株式会社 デンタルタイアップ
小原啓子
藤田昭子



組織として
やるべきプロセスを
踏んで物品購入を
しましょう！



図 物品購入の正しいプロセス

ある日突然現れる物品

朝出勤すると、大きく頑丈な箱に入れられた機器が突然届くことはありませんか。そのときにありがちなスタッフの会話です。

「いったい何が届いたの？」

「またですよ」

「この間、院長が研修会に行かれたから……」

「今度は何を買われたのかしら……」

どうやら院長が購入した機器が届いたようです。しかし、こんな会話がなされているのならば、その機器がきちんと活用されることはないかもしれません。実は、これは組織としてやるべきプロセスを踏んでいないことから起きるトラブルです。

物品購入には正しいプロセスを

新規の機器や医薬品といった物品の購入時には、組織としてやらなくてはならない正しいプ

ロセスがあります(図)。まずはそれらの物品を購入すれば、どのように歯科医療を提供できるのか、あらためて現状を確認しましょう(図-①)。次に必要となるのは院内でのミーティングです。ミーティングで新たな物品購入について、話し合う必要があります。スムーズに議題にあがるように、買いたい物のリストを作り、記入できるようにしておきましょう。そこにスタッフそれぞれが必要だと感じた物品を、値段も含めて記入します(図-②)。

記入してもらった内容を、ミーティング時に緊急度や重要度を加味して「早急に必要・デンタルショー時に確認して購入・決算時に購入・時期が来たら購入・不要」と、優先度を決めていきます(図-③)。購入前から物品の価値を議論し、全員で確認していると大切に扱うようになります。そして、「たしかに必要なだ」と購入が決定したら、次は担当者を決めます(図-④)。担当者は誰もが知識・技術を習得して物品を活用できるように研修会を企画しましょう(図-⑥)。

また医療法では、新しい機器・医薬品の購入

後は研修会を開催し、その記録を残すことが義務づけられています(図-⑦)。記録した書類は5年間の保存義務が発生します。もちろん使用説明書も大切に保管します。機械関係は保守点検計画を立てて、日々の調子を確認することも義務づけられています(図-⑧)。

他人ごとではない物品購入のトラブル

「ある日突然、販売する歯ブラシや歯間ブラシ、歯磨剤が変わっていました。まだ以前の物が残っているのに、在庫が増えて管理が大変です」と受付からの声があがることもあります。

物品購入の正しいプロセスは他人ごとだと思っ読んでいたあなたも、混乱させる人になっていたかもしれません。どれだけ小さなことであっても、組織で動くというのは、そう簡単なことではありません。口腔ケアグッズも、図に示したプロセスに則り、購入しましょう。

口腔ケアグッズの提供を数字でチェックしてみる

皆さんの医院ではセルフケアに必要な口腔ケアグッズを十分に提供できていますか。唾液検

査等のリスク検査も含めて口腔内の状態を把握し、一人ひとりに合った口腔ケアグッズをお勧めすることが必要です。患者さんがセルフケアの重要性を理解することが、口腔ケアグッズの購入へとつながります。また、プロとしてお勧めする物を歯磨剤や歯ブラシなどを組み合わせて「口腔ケアセット」として説明するのも有用です。購入していただいた後も、口腔ケアセットは毎回持参していただき、口腔内の変化に応じて指導し、ケアグッズが傷んでいれば新しい物を購入していただくようにしましょう。

医院での口腔ケアグッズの売り上げの目安を考えてみましょう。1日8時間労働で、一人の患者さんに対して45分診療を行った場合、余裕をもって10人の患者さんを診ることができ、ユニットが3台ならば30人(10人×3台)の患者さんを診ることが可能となり、1カ月の診療日数を21日で計算すると、630人(30人×21日)となります。日本では一人の患者さんの来院回数の平均は月に1.7回となっていますので、大まかな実患者数の目安は月に370人(630人÷1.7回)です。その方々に月1回300円の口腔ケアグッズをご購入いただいた場合111,000円(300円×370人)となります。つまり月に10万円ほどがユニット3台の歯科医院における売り上げの目安です。

6回の連載を終えるにあたり

この半年間、「歯科医院運営にまつわる実は」ということで、文字や数字の意味を確認してきました。世の中では、“働き方改革”が提唱され、どんどん勤務環境は変わっていきます。しかし、他人ごとのようにこの外部環境の変化を待っていても、歯科医院は何も変わりません。私たちが努力し、粘り強く小さな改善を継続することで歯科医院は変わります。また、どこかでお会いしましょう。お会いできる日を楽しみにしています。

